

No.51

令和6(2024)年11月1日発行

主 な 内 容

皆さんの声を議会へ
(一般質問)……………2～4

トピックス……………5

決算審査特別委員会
審査報告……………6～8

主な議決結果……………9

ネット中継・傍聴のご案内…10

たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！



マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



令和5年度一般会計など決算7件を審査・認定

第3回市議会定例会が9月2日から12日までの11日間の会期で開かれ、前田市長から令和5年度各会計決算に係る決算大綱説明が行われました。

また、令和6年度一般会計補正予算など市長提出議案4件がいずれも可決されたほか、市政について13人の議員による一般質問が行われました。



建替え後の開西団地

一般会計補正予算の主な内容

バス車両購入費の増額 13,497万円
保育所運営費委託料の増額 4,099万円
生活保護システムの改修 1,734万円
令和4年度及び令和5年度国庫補助金等の事業費確定に伴う返還 133,433万円

一般会計・特別会計		決算額	執行率
一 般 会 計		223億7506万円	92.9%
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	44億2810万円	96.8%
	公営住宅事業特別会計	6億7796万円	93.5%
	介護保険特別会計	34億8580万円	87.2%
	後期高齢者医療特別会計	7億121万円	98.0%
	小計	92億9307万円	

企業会計		決算額	執行率
下水道事業	収入計	17億248万円	93.8%
	支出計	21億3707万円	93.1%
病院事業	収入計	76億9753万円	90.7%
	支出計	80億6705万円	90.1%

皆さんの声を議会へ

当市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、13名の議員が質問しました。

質問者	質問項目
山口 清悦 (新政会)	森林環境譲与税の活用に向けた基本方針等 公共施設のWi-Fi環境の整備 滝川市備蓄計画
田村 勇 (新政会)	駅周辺再整備 瀧川屯田移住記念碑 防犯対策 家屋等の解体支援 所有者不明の家屋等 生活保護制度の適正な執行 滝川ふれ愛の里の利用者増
安楽 良幸 (新政会)	関係機関との防災訓練の実施 滝川市防災サポーター 住宅新築・改修促進事業の継続 北海道滝川工業高等学校に新しい学科の設置を求める要望意見書提出後の経過 滝の川運動公園の整備
荻野 仁史 (市民ネットワーク)	旧硬式テニスコート跡地の活用
好川 章 (新政会)	民生委員・児童委員の活動 認知症対策の取り組み 脳ドック（認知症予防）セット健診
高橋江海子 (華瀧会)	JR東滝川駅の今後 公共施設の空調 市庁舎1階の自動演奏付きグランドピアノ 里親制度 教育施設の整備
荒木 文一 (市民ネットワーク)	発熱者の対応 滝川第一小学校建替え 部活動の地域移行
三上 裕久 (公明党)	人口減少における対応 寄付額減少のふるさと納税 駅周辺再整備 グリーンツーリズムの推進
寄谷 猛男 (日本共産党)	旧トピアビル及び小林ビルの取り扱い 男女共同参画の視点からの災害対応の取組強化 高齢者の安全運転支援装置の助成 街路樹の管理・剪定 部活動の地域移行
藤田 哲也 (市民ネットワーク)	情報発信戦略 創業者に対する包括的事業支援
堀 重雄 (公明党)	滝川駅周辺地区再生整備にかかる収支計画 道の駅たきかわの改修等
木下八重子 (市民ネットワーク)	空き地の適切な管理
柴田 文男 (21フォーラム)	人材の確保

第3回定例会 一般質問から

滝川市備蓄計画について



山口 清悦（新国会）



問 滝川市備蓄計画に示された市民備蓄や企業備蓄の進捗状況はどのようになっているのかを伺う。また、行政が備蓄する飲食料品はいつ更新し、古い飲食料品の処分はどのようにしているのかを伺う。

答 防災教室や出前講座等で市民備蓄の呼びかけを行っていますが、市民備蓄に比べ企業備蓄は進んでおらず、いずれも実際の備蓄状況は把握していません。今後、防災教室等のアンケートで備蓄数の把握に努めるほか、企業備蓄の推進に向けた効果的な手法を検討し、啓発していきます。また、消費期限が残り1年を切った飲食料品は、防災教室等での試食等に使用するなど有効活用をしていますが、より効果的な備蓄について引き続き検討していきます。

駅周辺整備について



田村 勇（新国会）



問 駅周辺整備の推進によって変更や繰り延べになった事業はあるのかを伺う。

答 公共施設個別施設計画前期計画の見直しの要因として、ふるさと納税寄付金額の減額と新たに優先すべき事業として、小中学校などへの空調設備の設置、そして駅周辺整備事業への対応がありました。駅周辺整備事業を推進することで見直しとなったものではありませんが、計画の見直しを行ったものです。

問 今年の秋祭りの際の露天商関係者の入浴対応について伺う。

答 初日の9月22日は35名、翌23日は31名で2日間で延べ66名の方が滝川ふれ愛の里で入浴されました。

滝川工業高校の新学科について



安楽 良幸（新国会）



問 半導体等の先端技術の拡大に対応できる人材育成を狙いとして、本年3月に北海道教育委員会に対し、滝川工業高校に新しい学科の設置を求める要望書を滝川市議会として手渡ししたが、その後の調整状況など、経過を伺う。

答 3月以降、市教委としても数回にわたり、道教委と情報交換や懇談を行い、道教委側も半導体産業を担う人材の育成にあたっては、管内唯一の工業科がある滝川工業高校はその役割を担う高校として位置付けています。現時点で滝川工業高校は、1つ目に既存学科に半導体技術の基礎を学ぶカリキュラムを編成、2つ目は技術者等外部講師を招聘し、実践的な学習の実施、3つ目は最前線の現場見学や実習機会の拡大の3点を取組方針の柱として設定しています。

旧硬式テニスコート跡地の利活用について



荻野 仁史（市民ネットワーク）



問 滝の川運動公園内にある旧硬式テニスコート跡地を活用し、サッカー場を整備することについて市の見解を伺う。

答 多用途に活用できる広場として指定管理者とも協議しながら調整をしてきました。現状はネットポストを外し、コンクリート基礎の撤去作業、簡易的な整地作業まで終了しています。

問 現場にある照明設備は、現在も利用できるのかを伺う。

答 大きな投資をしてまで改修するという考えはありませんが、現状の設備のまま利用するというのであれば活用は可能です。ただし、電気料金や夜間の管理など利用方法や問題点については指定管理者と協議を進めていきます。

民生委員・児童委員の活動について



好川 章（新国会）



問 欠員が続く民生委員・児童委員について、担い手不足の解消に向けてどのように考えているのかを伺う。

答 現在、定数117名に対し、94名という状況です。活動内容・定数も含め滝川市民生委員・児童委員連合協議会において検討し、担い手不足の解消に努めていきます。

問 今後5人に1人が認知症になると予想されているが、認知症対策の取り組みにあたり担当部署の専門職員に不足は生じないのか。

答 地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、予防・早期発見に対応しています。また、「チームオレンジ」を中空知管内でいち早く立ち上げ、認知症に対する支援をし、誤解や偏見がなくなるよう活動しています。

里親制度の周知・推進について



高橋江海子（華瀧会）



問 児童養護施設の視察で、里親登録のうち実際の受入は半分と、国が目指す家庭的養育優先の理念には程遠い現状があると聞いた。里親や元里子による講演会実施等、周知活動を強化してはどうか。

答 多くの子ども達が家庭に近い環境で養育されることはとても重要です。実際に経験者のお話を聞くことは非常に貴重な機会なので、道と相談しながら開催を前向きに検討したいと考えています。

問 音楽公民館には冷房がないが、配備の予定はあるか。

答 文化施設の統廃合・集約化を検討中のため空調設備の完備の予定はありませんが、他の公共施設の状況を鑑みてスポットクーラーなどの簡易的な冷房機器の導入の検討を進めます。

第3回定例会 一般質問から

第一小学校の建替進捗状況について



荒木 文一（市民ネットワーク）



問 令和11年度の建替着手に向けて準備の進捗について伺う。

答 新小学校基本構想策定業務に着手しており、他校との統合や他の公共施設機能集約も含めた検討を進めています。年度末には整備スケジュール等の構想（案）を示したいと考えています。

問 市立病院における発熱者等の受診対応について伺う。

答 基本的には通常診療体制下での対応となりますが、可能な限り、かかりつけ医受診の検討をお願いしています。

問 部活動の地域移行に向け、何らかの行政助成、学校施設の開放は不可欠と考えるがいかがか。

答 移行後は保護者負担を前提に考えていますが、各団体との協議を踏まえ、大きな負担とならない支援のあり方を検討していきます。

将来を見据えた取り組みについて



三上 裕久（公明党）



問 本市の将来人口推計を受け、今後の施策にどのような影響があり、その対策として今すべきことは何かを伺う。

答 生活関連サービスの低下、経済や産業の縮小、学校の統廃合、地域公共交通の縮小、税収減による財政への影響などがあげられます。その対策として、今取り組むべきことは、子育て環境やコンパクトなまちづくりを進め、「市民にとっていつまでも住み続けたいと思えるまち」を目指していきます。

問 中空知の自治体連携について、今後どのようなことを考えているのかを伺う。

答 広域連携は、市民にメリットがあるのかないのかを検討・判断をしながら、まずは現在実施している様々な取り組みを効率的に進めていきます。

管理者不存在のビルの取得について



寄谷 猛男（日本共産党）



問 駅周辺整備における老朽化した管理者不存在のビルの取得については慎重を期し、新しい施設整備の財源確保に努めるべきと思うが市の考えを伺う。

答 管理者不存在のビルについて市が税金を投じてビルを取得するという選択肢はあると考えています。当該物件はかなり劣化が進み、外部的な部分についても損傷がある程度進んでいる状況から、解体等々の経費もかかります。当該物件を取得するという判断に至った際には、そのような部分も加味した考え方をもとに交渉を進めていきます。市民の安全安心な生活を守る上からも、このまま危険な物件を放置することなく、できる限り交渉もスピード感を持って戦略的に国の交付金等々の活用を検討しながら進めたいと考えています。

情報発信戦略について



藤田 哲也（市民ネットワーク）



問 急速に変化する情報環境において、世代や属性に応じた効果的な情報発信の基本理念と具体的な戦略について、市の考えを伺う。

答 情報の受け手がどのようなサービスを利用しているのかを注視し、効果的な情報発信手段を模索しながら、地域住民や観光客に必要な情報や魅力発信を行っていきます。

問 創業初期事業者への資金・知識支援に加え、包括的な支援策について、市の考えを伺う。

答 今年度より、商工会議所や商工会の経営指導員と連携し、創業後3年間を目処にヒアリング調査を実施して、経営環境や課題を把握し、必要な指導や支援策を検討する予定です。創業準備期から安定期まで段階に応じたトータルサポートを行う考えです。

駅周辺整備事業について



堀 重雄（公明党）



問 駅周辺整備事業に対して、市民は、市の財政負担を心配しているため、収支計画を早く示すべきと考えるが、予定を伺う。

答 現在、民間活力導入に関する調査を実施しており、市民の意見も踏まえ、国の交付金等を含めて事業費を精査し、年末に予定する基本計画策定に係る中間報告に併せて公表する予定です。

問 道の駅は、施設配置から24年が経過し、施設全体の老朽化が進んでいる。集客力向上の観点からも大幅な改修が必要だと思うが、今後の対応について伺う。

答 本年6月に改定した滝川市公共施設個別施設計画前期計画において、施設面からの集客効果なども検討していますが、あくまで財政状況を踏まえた上で、対応していきたいと考えています。

空き地の適切な管理について



木下八重子（市民ネットワーク）



問 空き地の管理不全是、周辺地域の衛生環境の悪化をもたらす要因となり得る。近隣住民からの苦情、土地所有者がわからない場合なども考えられるが、空き地の適切な管理について、どのように対応をしているのかを伺う。

答 市では相談を受けた際、職員による現地確認を行い、所有者または管理者に対し、文書や電話により指導するとともに、遠隔地の方など所有者による対応が困難な場合は、市内の除草や駆除事業者の紹介も行っています。所有者や管理者の確認は、登記情報を取得することに加え、市への相談者や近隣住民からの聞き取りにより所有者や管理状況など詳細に調査を行っています。今後についても、粘り強く指導を行い、生活環境の保全に努めていきます。

人材の確保について



柴田 文男 (21フォーラム)



問 今後の地方行政の最大の課題は「人材の確保」である。地域の生き残りに直結するこの問題に対する市の基本的な受け止めを伺う。

答 一般職の採用試験の応募状況は減少傾向にあり、民間企業の初任給引き上げによる採用者の増など様々な要因があります。今後とも募集状況に注視していきます。

問 人材確保のために大胆な働き方改革が必要と考える。国内の大手企業や欧米の企業などはフレックスタイム制や週休3日制を導入している。本市においても検討すべきと考えるが見解を伺う。

答 国も様々な働き方改革を模索する中で週休3日制を含めた検討を行っています。本市としても国の検討内容や他の自治体の事例を参考に、多様な働き方の一つとして検討していきたいと考えています。

令和6年度 滝川市議会議員会視察

視察期日

・令和6年9月19日(木)

視察先

・遠軽町芸術文化交流プラザ「メトロプラザ」

滝川市議会議員会では、先進的な取り組みをしている自治体のまちづくりの施策やアイデアを調査する視察を2年に1度実施しています。

今回は、遠軽町を訪問し、芸術文化の振興及び交流活動の促進を図り、地域のにぎわいの創出に寄与している遠軽町芸術文化交流プラザ「メトロプラザ」について、その推進施策や実施・運営方法等を学びました。



議員活動の紹介 Topics

滝川駅周辺地区再生整備に関する市民ヒアリングについて

本市議会では、駅周辺地区の再生整備という重要事業について、幅広く市民の意見を拾い上げ、基本計画策定に向けた審議の土台とするため、ヒアリングを実施しました。ヒアリングにおいて寄せられた数々の貴重なご意見については、今後の審議に有効活用していきます。

(議長を除く15人の議員が各常任委員会ごとの3つのグループに分かれて意見交換を行いました。)

○総務文教常任委員会 (安樂、荻野、福井、山口、柴田)

・7月2日(火) 一般財団法人滝川市スポーツ協会 6名

・7月3日(水) 栄町6区誠交会
栄町第8区町内会
栄町第9区町内会 } 6名

・7月11日(木) 陸上自衛隊滝川駐屯地 10名

○厚生常任委員会 (木下、好川、寄谷、高橋、関藤)

・6月25日(火) 一の坂地域子育て支援センター利用者 9名

・7月3日(水) 滝川市自立支援協議会 7名
滝川市老人クラブ連合会 5名

○経済建設常任委員会 (田村、藤田、堀、三上、荒木)

・7月10日(水) 駅前商店街振興組合 6名

・7月17日(水) 滝川商工会議所青年部 12名



第3回 定例会

決算審査特別委員会審査報告

一般会計など全決算を“認定”

本定例会では、第1および第2決算審査特別委員会を設置し、9月5日から6日まで各委員会を開催し、令和5年度一般会計1件ならびに特別会計4件、企業会計2件について審査を行いました。

給食費の滞納

問 給食費の滞納について、簡易裁判所に申立て等の手続きはあったのか。また、行った場合の件数と支払いはされたのかを伺う。

答 支払督促及び仮執行宣言の申立てを、それぞれ2件行っておりますが、いずれも完済には至っていません。

福祉除雪の利用世帯

問 福祉除雪の利用世帯数の推移について伺う。

答 令和4年度の利用世帯数は332世帯、5年度は327世帯となっています。また、世帯数減の主な理由については、利用者の施設入所や入院、死亡などにより、福祉除雪の利用を必要としなくなった世帯があるためです。



民生委員の現状

問 民生委員の不足数について伺う。

答 令和5年度末の時点では定員117名に対し、92名に委員になっていただいております、25名の欠員となっています。

不登校への対応

問 4月から3月にかけての、不登校の児童生徒数の推移について伺う。

答 4月当初からと2学期以降の9月から10月にかけて大きく増える傾向にあり、3学期以降の2月頃にもさらに増える傾向があります。

問 中学校の不登校生徒に対し、どのような対応をしているのかを伺う。

答 教室に入れない生徒には、各中学校の相談室や学習ルーム等で学習できるような環境作りを行っています。また、学校に足が向かない生徒には、適応指導教室ふれあいルームで対応しています。

平和公園の整備

問 平和公園改修工事の内容について伺う。

答 トイレの新築、樹木の伐採及び植栽、施設の新設改修（遊具、東屋、ベンチ、放送設備等）、既存施設の撤去等です。



人間ドックの受診者数

問 人間ドックの受診者数と、1日の受け入れ体制について伺う。

答 令和5年度の受診者数は855人です。人間ドックは診療と同時に実施しており、医師の診察も必要であることから、月曜日から金曜日まで1日12人の枠内で予約制で実施しています。また、エコー検査がある場合は一般の患者の検査も行っているため、1日5人までの実施となっています。

問 新たに実施した利用者獲得への取り組みなどがあるかを伺う。

答 1日あたりの受診者数に上限があるため、新たな利用者獲得の取り組みは行っておりませんが、オプションとして実施しているお手軽健診に関しては、市の関係機関や一般企業も含めてパンフレット等の配付を行いながら、積極的に受診勧奨を進めているところです。

介護認定審査会の役割

問 介護認定審査会について、委員の構成と、どのようなことを行っているのかを伺う。

答 医師、歯科医、看護師、保健師、ケアマネジャーなど医療、社会福祉に通じた方が委員となっています。主治医意見書や介護認定調査の結果を踏まえ、介護度が何段階かを機械が判定したものを審査委員の皆さんが確認（審査）し決定をしています。

下水道の家事用と業務用の割合

問 家事用と業務用の比率について伺う。

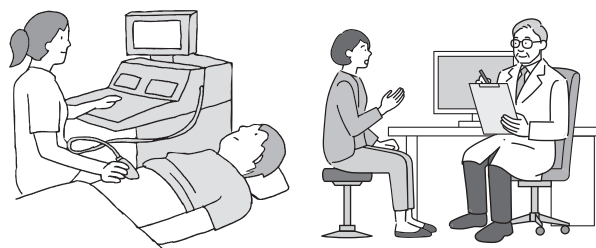
答 家事用の年間調定件数は187,759件、業務用の年間調定件数は15,173件であり、割合は家事用が約93%、業務用が約7%となっています。

特定健康診査※の受診率と課題

問 特定健康診査※の受診率と、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴う今後の課題を伺う。

答 令和5年度の最終的な受診率は36.1%の見込みで、前年と同水準となることから、今後の課題は受診控えをしていた方の受診を再開させるきっかけづくりと、現在受診している方のリピート率を向上させることと考えています。

※特定健康診査とは40歳から74歳の保険加入者を対象に生活習慣病の発症や重症化の予防を目的に実施するものです。



がん検診受診勧奨

問 新たなステージのがん検診の取り組みについて伺う。

答 がん検診対象の初年度となる20歳の女性の方には子宮がん検診、40歳の方には胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、乳がん検診の周知と、受診勧奨として個別にハガキを送っています。また、がん検診を受けて精密検査対象となった方には、精密検査に関する受診勧奨をしています。

不妊治療助成金実績

問 不妊治療助成金の対象者数とその効果について伺う。

答 18組24件の申請があり、実際に妊娠されたのは9件となっています。

決算審査特別委員会 における各会派討論



◎市民ネットワーク

一般会計では、様々な経費節減に努められ約9億円の黒字となり、基金の積み増しがなされたことを評価する。しかし、今後は老朽化した公共施設の再編に伴う除却などの課題があり、財源確保の対応にさらなる努力を願う。また、ふるさと納税の寄付金のさらなる確保に努力されたい。

公営住宅事業特別会計について、指定管理先と密に連絡調整に努め、円滑に事業が遂行されることを願う。病院事業会計について、地方都市の自治体病院が急性期医療の維持に苦勞されている。今後も患者本位の病院運営にさらなる努力を願う。他の特別会計、公営企業会計の収入については、保険料、利用料等の適正な受益者負担の徴収により一層当たられたい。

◎新政会

歳入では、ふるさと納税収入が返礼品規制強化や経費割合の変更等の影響を受け、大幅な減収となったが、今後も変化に応じた商品開発や積極的なPRなどを心掛け増収を目指し、また有効な財源確保と運用にもより一層努力していただきたい。歳出では、決して黒字確保を最大命題とせず、長期的見地にたって総合計画に則り、必要な事業を粛々と実施していただきたい。

国民健康保険では、経年的に

国や道より高い特定検診受診率の維持に努めたことを評価する。さらなる受診率向上により、市の目標値達成に努められたい。また、特定保健指導については、今後も引き続き対象者に対する支援として受診率向上に努められたい。

病院事業会計では、滝川市立病院WLB（ワークライフバランス）推進チームが掲げる将来像「職員が元気で働きやすい職場!」、「人材の確保・育成のできる病院」を命題に取り組んでいることを評価する。さらなる改善と、業務の分散・軽減や時間外勤務の削減により離職率軽減に努められたい。また、保険適用外利用者に対して有償の追加検査などを積極的に推奨し、さらなる収益向上に努められたい。

◎公明党

令和5年度は、新たな総合計画のスタートの年として、子育て支援施策に重点を置きながら市民生活と地域経済を支える予算として編成された。一般会計では、約9億円の余剰を生んだことを評価する。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、円安による物価高の状況にあった。国は地方自治体に対し補助金・交付金・給付金などの配分でこの状況を打破しようと試み、滝川市においてもそれらを活用し、特に給付金の給付において尽力

されたことを評価する。今後も市民最優先の行政運営に努めていただきたい。

◎21フォーラム

総体的事象として、一つ指摘したいのは執行率の低さである。不用額が多すぎるのではないかという点である。ある主要な事業の執行率がゼロということもあり、政策的事業のブラッシュアップが今後必要ではないかと考えている。時代に適合した政策の策定をお願いしたい。

◎日本共産党

公営住宅事業においては、労務費や資材単価の上昇により建替えや住宅の維持修繕に多額の費用を要することになる。住民が安心して快適に過ごせるよう迅速かつ適切な住宅の維持修繕に努めていただきたい。

病院事業においては、市民に信頼される医師の確保が大きな柱となる。あらゆる可能性を探り、医師の獲得に努めていただきたい。

国民健康保険税は所得に応じた軽減措置などがあるが、そもそもが高く重い負担となっている。保険税の支払いについて引き続き市民の相談に丁寧に対応していただきたい。

また、国民健康保険の都道府県化に向け保険税を引き上げる動きの自治体もあるが、本市は慎重であっていただきたい。

令和6年第3回定例会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	令和5年度決算に係る健全化判断比率について	報告済
報告第2号	令和5年度決算に係る資金不足比率について	報告済
報告第3号	専決処分について（損害賠償額の決定）	報告済
報告第4号	株式会社滝川振興公社の経営状況について	報告済
報告第5号	監査報告について	報告済
報告第6号	例月現金出納検査報告について	報告済
報告第7号	専決処分について（損害賠償額の決定）	報告済
議案第1号	令和6年度滝川市一般会計補正予算（第3号） 滝川市内線における自家用有償旅客運送の実施に伴うバス車両購入費の増額、被保険者証廃止に伴う重度心身障害者医療費助成に要する保険者情報の取得に必要なシステムの改修、保育士配置基準の改正に係る公定価格加算措置の創設に伴う保育所運営費委託料の増額、厚生労働省の生活困窮者就労準備支援事業費補助金を活用して行う進学準備給付金改正及び就労自立給付金インセンティブ強化への対応に伴う生活保護システムの改修、令和4年度及び令和5年度国庫補助金等の事業費の確定などに伴う返還のための補正です。	原案可決
議案第2号	令和6年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） マイナ保険証を保有していない方への資格確認書の交付等に必要なシステムの改修を行うための補正です。	原案可決
議案第3号	令和6年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第1号） 介護給付費等に係る国庫支出金等の精算による償還金の増額及び介護給付費準備基金の積立てを行うための補正です。	原案可決
議案第4号	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について 令和6年12月2日に施行される行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律に伴う規約の変更です。	原案可決
議案第5号	議員の派遣について	原案可決
議案第6号	決算審査特別委員会の設置について	原案可決
認定1号～7号	令和5年度滝川市各会計決算	認定
意見書案第1号	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書	原案可決
意見書案第2号	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める要望意見書	原案可決
意見書案第3号	新型コロナウイルス感染症に対する経済的な負担軽減を求める要望意見書	原案可決
意見書案第4号	学校給食の無償化の早期実現を求める要望意見書	原案可決

議会の傍聴ってどうすればいいの？

1. 市役所庁舎11階へ

エレベーターをご利用ください。



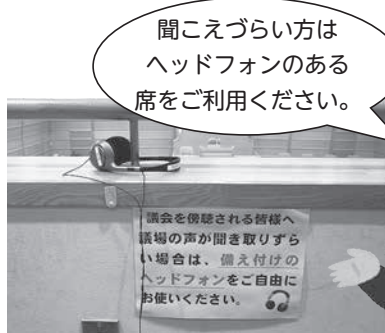
2. 傍聴受付票に記入

住所、氏名、年齢を記入します。



3. 入口から入場

携帯電話の音を鳴らないようにしてください。



聞こえづらい方は
ヘッドホンのある
席をご利用ください。



どなたでも傍聴でき、
途中退席も可能です。
定員は50人です。



傍聴中はお静かに願います。

傍聴が難しい方は、YouTubeや市役所1階ロビーのテレビでも視聴ができます。

議員研修会



8月22日(木)、北海道市議会議長会道央支部協議会主催による議員研修会が美瑛市（美瑛市民会館）で開催され、13名の議員が参加しました。

テーマ：地方行政を巡る諸課題
予算・決算審議時の要諦

講師：札幌市財務局長
北海道大学公共政策学研究センター研究員
笠松 拓史 氏

行政視察

道内外の市区議会が滝川市を訪れました!!

- 7月22日(月)
名寄市議会（総務文教常任委員会 8人）
テーマ：公共施設複合化の取り組みについて
（担当：企画課）
- 7月30日(火)
東京都北区議会（公明党議員団 8人）
テーマ：学校との連携による子どもの読書活動支援事業について
（担当：図書館）
- 10月7日(月)
群馬県藤岡市議会（総務常任委員会 7人）
テーマ：公共施設マネジメントの推進について
（担当：企画課）

気軽に！手軽に！ネット中継!!

滝川市議会では、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。



たきかわ市議会
ホームページQR

傍聴してみませんか

令和6年第4回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3 本会議	4	5	6	7
8	9 本会議 一般質問	10 本会議 一般質問	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

編集後記

今年は、この辺りの農作物の生育は順調で、生産者はもちろん消費者も安堵したところでした。しかし、コメが店頭から消えるという出来事が起こり、食料確保の大切さをあらためて気づかされました。

9月の定例会では令和5年度の各会計の決算審査が行われました。予算の執行又は事業の経営が適正かつ効率的に行われているかどうかを主眼として実施し、本号では、その一部を紹介しています。

また、各議員の一般質問を掲載していますが、紙面の都合上、要点に絞ったものとなっています。お知らせしたいけれど、掲載しきれない質問もあります。本会議の場では真剣なやり取りがなされています。議会だよりにある二次元コードを読み取ってインターネット上で配信されている会議の様子をぜひ視聴していただきたいと思います。

たきかわ市議会だより編集委員会
委員長 寄谷 猛男

発行責任者 滝川市議会議長 山本 正信